

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 2 区分
 【発行日】平成 19 年 4 月 5 日 (2007.4.5)

【公開番号】特開 2005-242258 (P2005-242258A)
 【公開日】平成 17 年 9 月 8 日 (2005.9.8)
 【年通号数】公開・登録公報 2005-035
 【出願番号】特願 2004-55478 (P2004-55478)
 【国際特許分類】

G 0 3 G 15/01 (2006.01)

G 0 3 G 15/16 (2006.01)

【F I】

G 0 3 G 15/01 1 1 4 A

G 0 3 G 15/01 Y

G 0 3 G 15/16

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 2 月 19 日 (2007.2.19)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 8】

ここで、それらのステーション 1 の構成について、中間体ベルト 5 0 移動方向で最上流に配置されたブラックステーション 1 B k を例に挙げて説明する。他のステーション 1 Y、1 M、1 C も、現像剤の色以外は同様の構成であり、各部材例えば感光ドラム 2 B k は、感光ドラム 2 であり、カラーステーション 1 C、1 M、1 Y の感光ドラム 2 C、2 M、2 Y に相当する。尚、ここで、各プロセスステーション 1 B k、1 C、1 M、1 Y に設けられる部材、例えば、感光ドラム 2 といった場合は、各プロセスステーション 1 B k、1 C、1 M、1 Y における感光ドラム 2 B k、2 C、2 M、2 Y の総称である。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 3 1】

駆動ローラ 5 2 は直径 3 0 mm を有し、中間体ベルト 5 0 の回転を駆動する。中間体ベルト 5 0 の移動によって、各色ステーション 1 B k、1 C、1 M、1 Y で画像形成されたトナー像が、それぞれの転写面 T に配置される一次転写部 t (t B k、t C、t M、t Y) において、中間体ベルト 5 0 上に重なるように作像、転写される。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 9 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 9 2】

かかるように、白黒画像形成のように一色の画像形成だけでなく、2 色以上の画像形成動作に対しても有効で、本例の場合、実施例 1、2 と同様な効果で、フルカラー画像形成時、感光ドラム 2 の寿命が 1 万枚の時、2 色画像形成においては、使用するマゼンタとイ

エローについては 1 万枚で、使用しないブラックとシアンの感光ドラム 2 は、1 0 万枚以上、基本的にはかなりの長寿命となる。